

# “ASJ RTN-Model 2023” 目次

序	170
1. 予測計算方法の概要	173
1.1 適用範囲	173
1.2 用語の意味	173
1.3 予測計算の流れと基本式	175
2. 音源特性	177
2.1 車種分類	177
2.2 自動車走行騒音パワーレベルのモデル式	177
2.3 各種要因による補正	181
3. 伝搬計算	182
3.1 伝搬計算の基本式	182
3.2 回折に伴う減衰に関する補正量 $\Delta L_{dif}$	183
3.3 地表面効果に関する補正量 $\Delta L_{grnd}$	188
3.4 空気の音響吸収に関する補正量 $\Delta L_{air}$	190
3.5 反射音の計算方法	190
3.6 気象の影響	193
4. 道路特殊箇所の騒音	194
4.1 インターチェンジ部	194
4.2 連結部	196
4.3 信号交差点部	196
4.4 ラウンドアバウト周辺部	196
4.5 トンネル坑口周辺部	197
4.6 掘割・半地下部	198
4.7 高架・平面道路併設部, 複層高架部	201
5. 高架構造物音	204
5.1 適用範囲	204
5.2 高架構造物音の計算方法	204
6. 建物・建物群背後における騒音	206
6.1 単独建物周辺における騒音	206
6.2 建物群背後における騒音	206
付属資料	
A1 自動車走行騒音の周波数特性	208
A2 ハイブリッド自動車・電気自動車の走行騒音のパワーレベル	210
A3 周波数ごとの伝搬計算法	211
A4 波動数値解析による騒音の計算方法	214
A5 信号交差点部の騒音の計算方法	219
A6 建物群背後における騒音の詳細計算法	221
参考資料	
R1 二層式排水性舗装の騒音低減効果	222
R2 張り出し型遮音壁及び先端改良型遮音壁に関する伝搬計算法	224
R3 ノイズマップの検討事例	225
R4 単純条件下での $L_{Aeq,T}$ の簡易計算法	226
R5 予測精度に関する検討	226
R6 道路交通騒音のパワーレベル測定方法	231